

連載企画 SDGs取り組み事例紹介

株式会社イチグミ

～時勢に応じた「街造り・人づくり」で社会貢献～



【会社概要】

1960年（昭和35年）創業。当時開発が遅れていると言われた江戸川区葛西で埋立事業、堤防構築工事などを手掛け、社会基盤の構築に貢献出来たその誇りと、次の時代に繋いでいく必要性を感じながら企業として邁進している。

下水道工事においては、長年の経験を活かして取り組み、東京都下水道局より「35年間連続・工事成績優良業者」として表彰されるなど、時代の要請に応えながら地域社会に貢献を続けている。

【話し手】

株イチグミ 代表取締役 西野輝彦

—SDGsの取り組みを始めたきっかけについてお聞かせ下さい。

創立50周年を見据えた2008年から、会社として意識刷新のため社名をカタカナ表記に改名するとともに、ISOへの取り組みを始める過程で地球環境に配慮する事にも思いが及び、それまでも行なってきた社会貢献について改めて次の6点を掲げて徹底しておりました。「①管路更生の施工班の増員計画（地球環境配慮に資する工事の積極的な推進）②LED

照明への転換（5年を目指し本社→寮→更生管作業場→その他作業場→置場の順で）③空き缶、ペットボトル、ビン類の分別を徹底（空き缶は江戸川区建設業協会主導の「現場での空き缶で車椅子を区役所に寄付」事業）④古くなった作業着や衣服をリサイクル品として収集し寄付する（区内のリサイクル事業）⑤コピー紙の裏面利用率50%以上を目指す⑥使用済み切手で海外保険医療協力活動に参画する」これらはいずれもSDGs17の目標にもそのまま置き換えることができるものでした。



〈LED 照明への転換〉



〈使用済み切手で海外保険医療協力〉

2015年には、ISOにはないSDGsの幅広さと取り組み易さなどから、より意識改革に必要なツールとして位置付けできると確信し、移行の運びとなりま

した。そして2021年には、江戸川区が「SDGs未来都市」に選定されたのを受けて、区の施策と共に取り組んでいく事としました。

——管路更生を通じてSDGsに貢献している事について教えて下さい。

管路更生工事は、当社が長年に亘って取り組んできた開削による下水道工事から鑑みて、最もシンボリックな違いは「効率化」であると思われます。工期短縮と廃棄物が低減される事により、CO₂排出量も大きく抑えられるなど効率化に寄与しています。また、施工中の周辺環境への負担減も図られる他、多くの点においてSDGsの理念に通じていると認識しています。そのため管路更生工事は、その存在意義をますます高めており、正に今の時代に即したインフラ整備の根幹をなすものだと言えます。当社独自の取り組みとしては、施工現場において発電機に



〈施工中の様子〉

防音パネルを装着、ソーラーパネル仕様によるサインライトを導入するなど、更なる環境負荷の軽減に努めています。



〈発電機（防音パネル設置状況）〉

また近年、抜本的な新たな整備の必要性が迫られている「熱中症対策」については、年々より良い現場環境の構築に余念がないところであります。具体例では、休憩所の設置や対策用品の準備、工程を考



〈ソーラーパネル仕様サインライト〉

慮しながらの定期的な休憩時間のスキーム作りなど、SDGsに基づいた整備を図っています。



〈現場休憩所〉

管路更生を通じてSDGsに貢献するのが当社の使命と捉え、自治体や地域住民の皆様との距離をさら



〈熱中症対策用品〉

に近づけて繋がっていくよう研鑽を続けなければいけないと思っています。

—SDGsの取り組み全般について概説して下さい。

2008年から始めた地球環境配慮への取り組みを、2015年にSDGs17の目標に適合させた後は、先述した6点の遂行はもとより、環境配慮以外の幅広い目標についても取り組んでいます。

5年前の本社屋大規模改修工事に伴う完全なるLED化（省資源化）、DX対応（その後オンラインミーティングの構築）、システム配線による省スペース化、整理整頓の為の個人ロッカーの設置とフリーアクセスデスクの配置、セキュリティーシステムの再

構築など、小さい会社だからこそ出来る「社員の意見」を反映させ整備しました。“働きやすい環境”を整えた事は、環境配慮や効率化など社員の意識が多方面に広がり、とても意義深いものとなりました。

社会貢献については、地元の様々なコミュニティ組織への活動参加を通じて行なっています。

①葛西警察署交通安全協会による春と秋の全国交通安全運動／交差点警戒運動、交通安全講習会、交通安全区民の集いへの参加 ②地元ふるさと祭りへのお手伝いや関連する会議に全社員で参加して活動をしています。



〈交通安全運動〉



〈江戸川区民まつり〉

③江戸川建設業協会による「空き缶リサイクルで車椅子を区役所に贈呈」や春と秋の駅頭献血活動、江

戸川区民まつり、総合防災訓練、使用済み切手でワクチン活動にそれぞれ参加しています。



〈駅頭献血活動〉



〈空き缶リサイクル〉



〈地域のための防災倉庫〉



④東日本大震災を契機に「地域貢献を目に見える形で小さい事から…」との意味合いで、本社と社員寮に地域の皆様も

〈冊子「葛西沖の歴史」〉

使える「防災倉庫」を設置し更新による整備を毎年行なっています。

また、江戸川区が目指すSDGsの理念‘だれ一人取り残さない’‘ともに生きるまち’と一致する当社の取り組み目標の‘川や海に囲まれた江戸川区の歴史や文化、環境を学ぼう’があり、こちらは区より配布された冊子『葛西沖の歴史』を教材として全社員で改めて歴史や文化・環境を学ぶ機会としました。

——貴社の目指すSDGs2030年はどんな姿ですか？

今までそうありました様に時代感に照らして、一度は立ち止まって新たな発想がないか再考しながら進んで行きますが、それをSDGsのフィルターを通して考えるのが必然と感じる企業となっていきたいと思います。65年を超える当社の創業以来のキャッチコピー「街造り・人づくり」に一点の曇りなく進

める事が目標ですが、これからも管路更生による下水道工事でインフラ整備の大切さを学ばせていただきながら、多くの人達の「笑顔」を作っていくためには、社員の働き方改革や人手不足対策にも正面から向き合っていく必要があります。5年後の2030年においても「会社は人」というポリシーはど真ん中に据えて、先述した熱中症対策はもとより、次世代のためにも環境変容を厭わず、考える時間に多くのを注ぎたいと思っています。

ともに、生きる。
江戸川区

さあ、やってみよう！

『SDGsえどがわ 10の行動』

行動内容	行動例（こんな行動が考えられます）
【行動1】 食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買おう	<ul style="list-style-type: none">買い物に出る前に食品の在庫を確認しようばら売りや量り売りなどで必要な量だけ買おう
【行動2】 健康的な食事をし、運動を心がけ、十分な睡眠をとろう	<ul style="list-style-type: none">バランスの取れた食事を心がけよう一駅前で降りて歩いてみよう規則正しい生活を心がけよう
【行動3】 家事や育児、介護に家族みんなで参加しよう	<ul style="list-style-type: none">家庭での自分の役割を決めてみよう家族で何ができるか話し合いをしてみよう
【行動4】 電気も水も大切に使おう	<ul style="list-style-type: none">使用していない家電のコンセントを抜いておこうこまめに水をためる意識をしよう
【行動5】 最新の科学や技術に興味を持ち、活用してみよう	<ul style="list-style-type: none">スマートフォンの機能を全て使ってみようキャッシュレス決済などの技術を積極的に利用してみよう
【行動6】 一人ひとりの多様性への理解を深め、交流の機会を増やそう	<ul style="list-style-type: none">外国語や手話、点字など多様な表現方法に触れてみよう周囲の人たちの良いところに目を向けてみよう
【行動7】 世代を超えて地域のイベントや防災訓練に参加し、絆を深めよう	<ul style="list-style-type: none">地域のみんなに積極的に挨拶をしよう防災訓練に参加し地域で災害に備えよう
【行動8】 とにかくリサイクルをしよう	<ul style="list-style-type: none">ごみや資源を正しく分別しよう再生資源を利用した商品を買おう
【行動9】 みどりを大切にし、プラスごみを減らして豊かな自然を守ろう	<ul style="list-style-type: none">再生紙の利用やペーパーレス化を心がけようマイバッグ・マイボトルを持とう
【行動10】 川や海に囲まれた江戸川区の歴史・文化、環境を学ぼう	<ul style="list-style-type: none">江戸川区の歴史・文化を調べてみよう公園や親水公園で江戸川区の自然環境を学ぼう

〈SDGs宣言〉

